

**Aさん（1978年生まれ）**

**38歳の女性で、大学を卒業し、大企業で働いた経歴がある。しかし、離婚の後、小学生5年と3年の2人の娘と一緒に暮らしており、そのうちの1人が難病に罹っているシングルマザーである。契約職で働いていたが契約が更新されなかった。離職後は失業給付を受けていたが、現在は所定給付日数を超えてしまっており、収入はない。求職活動を積極的にしたものの、年齢のためなかなか再就職ができない。**

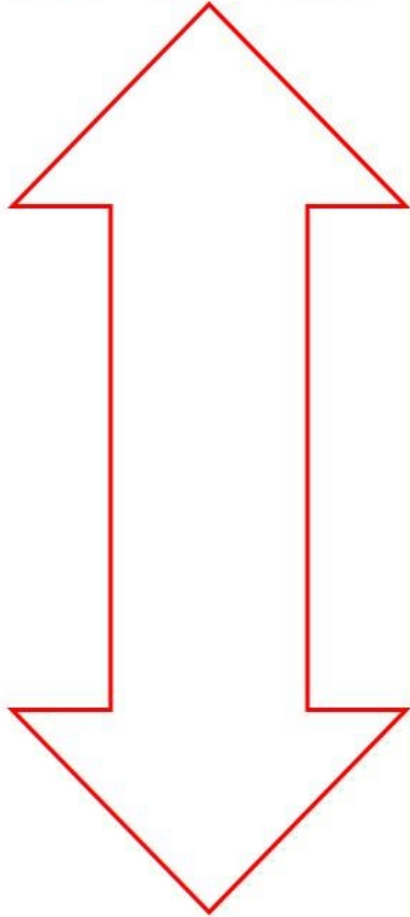
**Bさん（1974年生まれ）**

**40歳の未婚男性で、仕事先をさがしている。建設現場で働いた経験があり、片方の目に怪我をしたため2カ月後に障害診断を受ける予定だったものの、単純労務職に早く就職したい希望もっている。しかし、医者にかかったところ、角膜移植手術が必要であることが分かった。これまでの経緯を聞いたところ、家族と10年以上連絡をせず、仁川で野宿者生活をし、倒れたため病院に搬送され、その際に姉に連絡がいき、退院後に姉の家に住むこととなったものの、怪我をした際に治療を受けず失明の危機の状態に陥った。**

**Cさん（1981年生まれ）**

**34歳の未婚女性で、一人暮らしをしており、2015年2月に失職したため求職活動を行ったが就労につながらなかった。5年の事務補助員の経歴はあるが、資格がなく、経理や会計分野で就労を希望していたが教育の必要性を感じている。しかし、就労まで生活費が必要なものの、たちまちの生活費がない。親は公的扶助の受給者だったが、既に離婚している。**

直ちに就労できる



就労が難しい

生活困窮者の状態

職業紹介

就労支援

地域福祉  
(ケースワーク)

対人サービス

国

基礎自治体  
コミュニティ

行政

ハローワーク

福祉事務所等

機関

第1

第2

第3

セーフティネット

ワークフェア (Workfare = Work + Welfare)

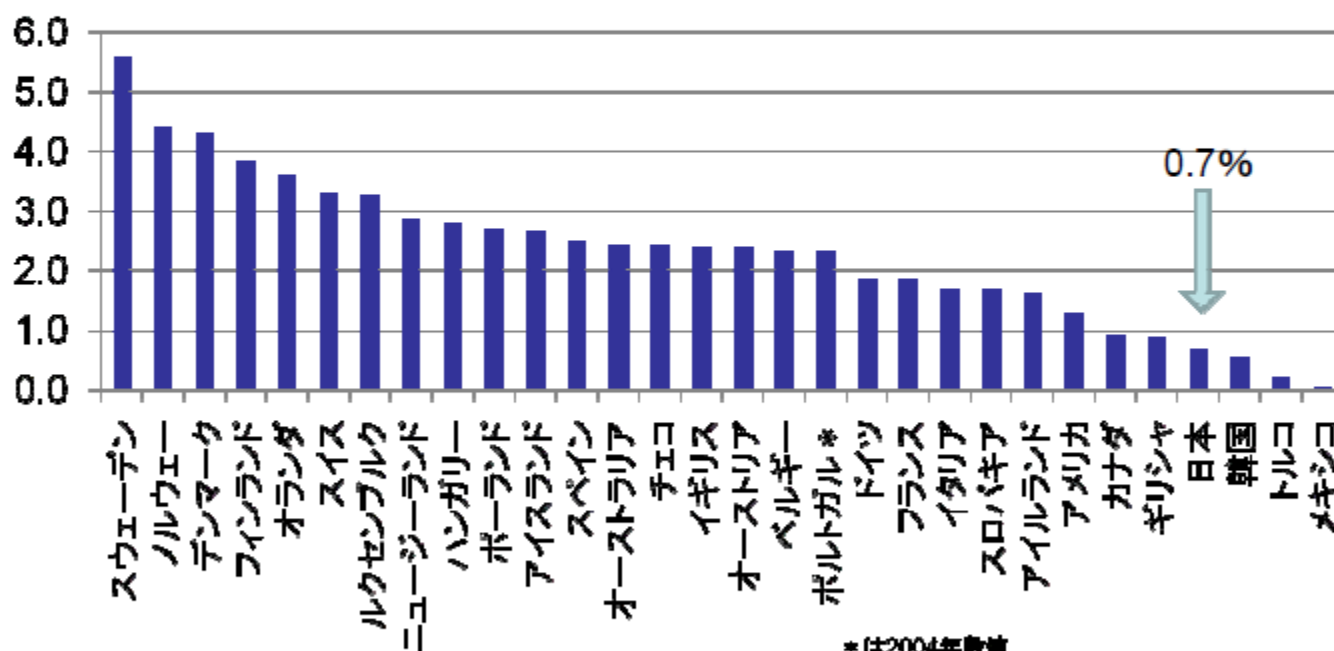
福祉給付の削減、福祉依存への対応等を主な目的とする。

アクティベーション (Activation)

人的資本の形成を目的とする。

# OECD障害・業務災害・傷病の 対GDP比率(%)2005年

## 公的支出



## 障害者割合(20~64歳人口に占める)

	障害者率 %
スウェーデン	20.5
ポルトガル	19.0
オランダ	18.8
デンマーク	18.5
イギリス	18.2
ドイツ	18.0
ノルウェー	17.0
カナダ	16.0
フランス	16.0
スイス	14.5
ポーランド	14.3
オーストリア	12.8
オーストラリア	12.5
スペイン	11.5
ベルギー	11.0
アメリカ	10.5
メキシコ	7.3
イタリア	7.0
日本	4.4
韓国	3.0
OECD(19カ国)	14.0
欧州連合(11カ国)	15.3
非欧州連合(8カ国)	12.0